



平成31年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年9月13日

上場会社名 株式会社トーエル 上場取引所 東
 コード番号 3361 URL http://www.toell.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 孝治
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理財務本部長 (氏名) 笹山 和則 TEL 045-592-7777
 四半期報告書提出予定日 平成30年9月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年4月期第1四半期の連結業績（平成30年5月1日～平成30年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年4月期第1四半期 | 5,504 | 6.3 | 303 | △37.9 | 342 | △38.3 | 211 | △42.7 |
| 30年4月期第1四半期 | 5,180 | 3.2 | 488 | 62.5 | 555 | 77.6 | 369 | 115.0 |

(注) 包括利益 31年4月期第1四半期 175百万円 (△54.7%) 30年4月期第1四半期 387百万円 (141.5%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年4月期第1四半期 | 10.65 | — |
| 30年4月期第1四半期 | 18.57 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 31年4月期第1四半期 | 24,278 | 14,823 | 61.0 | 744.57 |
| 30年4月期 | 24,199 | 14,946 | 61.7 | 750.77 |

(参考) 自己資本 31年4月期第1四半期 14,813百万円 30年4月期 14,936百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年4月期 | — | 0.00 | — | 15.00 | 15.00 |
| 31年4月期 | — | — | — | — | — |
| 31年4月期(予想) | — | 0.00 | — | 15.00 | 15.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成31年4月期の連結業績予想（平成30年5月1日～平成31年4月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|------|-------|-----|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 10,550 | 5.6 | 680 | 29.1 | 700 | 4.6 | 450 | 32.8 | 22.62 |
| 通期 | 24,380 | 4.9 | 2,050 | 17.0 | 2,100 | 5.3 | 1,330 | 13.3 | 66.85 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 31年4月期1Q | 20,415,040株 | 30年4月期 | 20,415,040株 |
| ② 期末自己株式数 | 31年4月期1Q | 520,290株 | 30年4月期 | 520,290株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 31年4月期1Q | 19,894,750株 | 30年4月期1Q | 19,894,750株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、堅調な雇用情勢と賃上げの裾野への広がりが消費に結びつき、個人消費の復調や設備投資による内需主導の持続的な成長を続けています。

このような環境の下、当社は2021年度末に向けた中期経営計画に基づき、第56期事業計画をスタートさせました。エネルギー事業においては、総合エネルギー事業者としての事業基盤の確立を進めております。ウォーター事業においては高品質な天然の原水にこだわる自社ブランドの浸透で差別化戦略に取り組んでおります。

セグメント別の概況は次の通りです。

① エネルギー事業

中東の地政学的政治リスクの不安材料が国際エネルギー価格を押し上げる中、同様にLPガス輸入価格も前年同四半期比高値で推移したことから販売価格が上昇、例年以上の猛暑の影響によりガス需要は伸び悩んだものの増収となりました。一方、LPガス小売市場での顧客獲得に伴う過当な価格競争に沈静化の兆しは見えません。当社はこの過当競争を避けるために、まず当社独自のエネルギー事業者としてのポリシーを掲げ、公正なる取引適正価格をホームページ上でも公開し、顧客の理解を求めることで、営業利益の確保に努めました。また電力、都市ガスを含めたエネルギー自由化競争に対しては、あらゆる顧客のエネルギーニーズに応える供給体制を整え、既存のガス、ウォーター顧客のライフライン領域に「TOELLでんき」「TOELL光LINE」を加え4事業をセットにした「TOELLライフラインパッケージ」を提案することで、既存顧客の継続取引並びに新規顧客開拓に努めました。

この結果、売上高は3,908百万円(前年同四半期比5.6%増)、管理部門経費配賦前のセグメント利益は502百万円(前年同四半期比19.3%減)となりました。

② ウォーター事業

ボトルウォーター市場は、飲料水市場における上水道水とペットボトル市場の間に位置しておりますが、より美味しい水への志向、都市部を中心とした建物の高層化に伴い、重たい飲料水の宅配サービスの利便性により市場は伸びております。新規参入業者も含めて業界競争は厳しくなっておりますが、当社は高品質な天然の原水ブランドにこだわった差別化戦略で顧客開拓に努めてきました。

「太平洋の真中、常夏の島ハワイの溶岩でろ過された天然水」から生まれたピュアウォーター『Pure Hawaiian』、「3,000m級の山々が連なる日本の秘境、自然豊かな北アルプスの天然水」から生まれたピュアウォーター『アルピナ』に、北アルプスの天然水そのものをボトルウォーターで楽しんでもいただける『信濃湧水』を加えた3ブランドを展開、リターナブル、ワンウェイのボトルの充実であらゆる顧客のボトルウォーターニーズに対応しました。

また、ウォーターサーバーの差別化戦略と付加価値向上を目的に開発した「高濃度水素水サーバー」の水素溶存量最大4.1ppmは業界内で追随を許さない商品として、美容・健康市場にも販路を開きウォーター事業に貢献しました。

更に、当第1四半期における平均気温は例年にない猛暑で水の需要が伸びた影響もあり、ボトルウォーターの出荷は12リットル換算で前年同期比4.8%増加しました。

この結果、売上高は1,595百万円(前年同四半期比8.0%増)、管理部門経費配賦前のセグメント利益は294百万円(前年同四半期比7.2%増)となり、増収増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計年度の売上高は5,504百万円(前年同四半期比6.3%増)、営業利益は303百万円(前年同四半期比37.9%減)、経常利益は342百万円(前年同四半期比38.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は211百万円(前年同四半期比42.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態につきましては、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ79百万円増加し、24,278百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が375百万円増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ202百万円増加し、9,455百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が900百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ122百万円減少し、14,823百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が86百万円減少したこと等によるものであります。

また、自己資本比率は61.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年4月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では、平成30年6月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、気候変動やC P価格及び円／ドル為替の動向などの不確定な要素があり、今後業績予想に関しては修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年4月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年7月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,564,892 | 4,939,921 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,019,310 | 2,576,172 |
| 商品及び製品 | 1,056,614 | 1,003,436 |
| 仕掛品 | 15,988 | 26,566 |
| 貯蔵品 | 276,190 | 304,868 |
| その他 | 317,576 | 337,430 |
| 貸倒引当金 | △112,156 | △108,921 |
| 流動資産合計 | 9,138,416 | 9,079,475 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,573,392 | 2,554,127 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,778,616 | 1,708,316 |
| 土地 | 5,466,938 | 5,489,020 |
| リース資産(純額) | 2,239,168 | 2,148,145 |
| その他(純額) | 744,901 | 1,176,595 |
| 有形固定資産合計 | 12,803,017 | 13,076,205 |
| 無形固定資産 | | |
| 営業権 | 432,271 | 390,097 |
| その他 | 138,015 | 132,422 |
| 無形固定資産合計 | 570,286 | 522,519 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 1,830,605 | 1,748,002 |
| 貸倒引当金 | △142,845 | △147,367 |
| 投資その他の資産合計 | 1,687,759 | 1,600,635 |
| 固定資産合計 | 15,061,063 | 15,199,360 |
| 資産合計 | 24,199,480 | 24,278,835 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成30年4月30日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成30年7月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,630,776 | 1,386,315 |
| 短期借入金 | 600,000 | 1,500,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 304,711 | 264,554 |
| 未払法人税等 | 396,723 | 98,697 |
| 賞与引当金 | 175,050 | 82,320 |
| 役員賞与引当金 | 60,000 | 15,000 |
| その他 | 2,530,509 | 2,641,575 |
| 流動負債合計 | 5,697,770 | 5,988,462 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 343,009 | 308,032 |
| 役員退職慰労引当金 | 825,721 | 873,959 |
| 退職給付に係る負債 | 578,862 | 589,218 |
| その他 | 1,807,929 | 1,695,864 |
| 固定負債合計 | 3,555,522 | 3,467,073 |
| 負債合計 | 9,253,292 | 9,455,536 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 767,152 | 767,152 |
| 資本剰余金 | 1,488,650 | 1,488,650 |
| 利益剰余金 | 12,738,195 | 12,651,565 |
| 自己株式 | △447,910 | △447,910 |
| 株主資本合計 | 14,546,087 | 14,459,456 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 328,512 | 285,828 |
| 為替換算調整勘定 | 60,706 | 66,687 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 1,089 | 1,089 |
| その他の包括利益累計額合計 | 390,308 | 353,605 |
| 非支配株主持分 | 9,792 | 10,236 |
| 純資産合計 | 14,946,187 | 14,823,299 |
| 負債純資産合計 | 24,199,480 | 24,278,835 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年5月1日 至平成30年7月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 5,180,313 | 5,504,606 |
| 売上原価 | 2,697,917 | 3,042,177 |
| 売上総利益 | 2,482,395 | 2,462,428 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,994,214 | 2,159,204 |
| 営業利益 | 488,180 | 303,224 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 307 | 261 |
| 受取配当金 | 6,472 | 7,065 |
| 賃貸収入 | 7,699 | 7,232 |
| スクラップ売却収入 | 13,740 | 20,025 |
| 為替差益 | — | 11,418 |
| その他 | 70,639 | 18,090 |
| 営業外収益合計 | 98,858 | 64,092 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 18,433 | 15,720 |
| 為替差損 | 4,617 | — |
| 賃貸費用 | 6,017 | 5,894 |
| その他 | 2,122 | 2,885 |
| 営業外費用合計 | 31,190 | 24,500 |
| 経常利益 | 555,848 | 342,817 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 114 | 1,758 |
| 特別利益合計 | 114 | 1,758 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | — | 153 |
| 特別損失合計 | — | 153 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 555,963 | 344,422 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 158,822 | 86,882 |
| 法人税等調整額 | 27,489 | 45,335 |
| 法人税等合計 | 186,312 | 132,218 |
| 四半期純利益 | 369,651 | 212,204 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 125 | 384 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 369,525 | 211,820 |

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成30年5月1日 至平成30年7月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 369,651 | 212,204 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 24,736 | △42,683 |
| 為替換算調整勘定 | △6,327 | 5,981 |
| 退職給付に係る調整額 | △369 | — |
| その他の包括利益合計 | 18,039 | △36,702 |
| 四半期包括利益 | 387,690 | 175,501 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 387,633 | 175,057 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 57 | 444 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注2) |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-------------|---------------------------|
| | エネルギー事業 | ウォーター事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,702,108 | 1,478,205 | 5,180,313 | — | 5,180,313 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 17,419 | — | 17,419 | (17,419) | — |
| 計 | 3,719,527 | 1,478,205 | 5,197,732 | (17,419) | 5,180,313 |
| セグメント利益 | 622,195 | 274,511 | 896,707 | (408,526) | 488,180 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△408,526千円には、セグメント間取引消去△17,419千円と全社費用△391,107千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成30年5月1日 至平成30年7月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注2) |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|-------------|---------------------------|
| | エネルギー事業 | ウォーター事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,908,730 | 1,595,875 | 5,504,606 | — | 5,504,606 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 22,528 | — | 22,528 | (22,528) | — |
| 計 | 3,931,259 | 1,595,875 | 5,527,135 | (22,528) | 5,504,606 |
| セグメント利益 | 502,211 | 294,259 | 796,471 | (493,246) | 303,224 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△493,246千円には、セグメント間取引消去△22,528千円と全社費用△470,717千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 前第2四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を「LPガス事業」から「エネルギー事業」に変更しております。セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の方法により作成しております。